

CVIT2015 受賞者一覧

○印は Best Abstract 賞受賞者

<臨床研究部門>

原口 拓也（時計台記念病院 北海道支部）

The new predictive value of successful interventional treatment for infrapopliteal disease based on lesional and procedural factors

石田 悟朗（太田西ノ内病院 東北支部）

当院における GuideLiner の使用経験

羽田 朋人（同愛記念病院 関東・甲信越支部）

急性下肢動脈閉塞症に対する経皮的 Fogarty バルーンカテーテル血栓除去術の超高齢者における治療成績

加藤 真史（三重ハートセンター 東海・北陸支部）

非梗塞責任病変における CTO 病変の合併の臨床的特徴について（Mie-ACS Registry からの報告）

○小林 泰士（兵庫県立尼崎総合医療センター 近畿支部）

当院における破裂性腹部大動脈瘤に対する緊急ステントグラフト内挿術の初期成績

中尾 文昭（山口県立総合医療センター 中四国支部）

分岐部ステント留置術におけるガイドワイヤー再挿入部位の選択ーステント強調 3D-OCT による確認ー

板家 直樹（久留米大学 九州・沖縄支部）

パクリタキセル溶出性ステント留置後 1 年以内と 2 年目以降の血管内皮機能と血管内視鏡所見の検討

<症例検討部門>

○管家 鉄平（JCHO 北海道病院 北海道支部）

Bioresorbable vascular scaffold (BVS) 留置後の冠動脈 CT 所見：冠動脈 CT は BVS 留置部位の血管壁性状変化を描出し得る

阪本 亮平（中通総合病院 東北支部）

ハイリスク AS に対する BAV の 3 例

白崎 圭輔（埼玉県立循環器・呼吸器病センター 関東・甲信越支部）

Antegrade PTAV 後にショックとなるも、PCPS で乗り切り独歩退院できた高齢女性の症例

高橋 茂清（木沢記念病院 東海・北陸支部）

Trans-catheter removal of foreign objects - a rare case with a positive outcome -

樋上 裕起（京都大学医学部附属病院 近畿支部）

傍腎動脈腹部大動脈瘤に対し Chimney technique を用い腹部大動脈ステントグラフト留置 (EVAR) に成功した 2 例

松井 翔吾（広島大学大学院 中四国支部）

シロリムス溶出性ステント留置後の巨大冠動脈瘤を迂回して何とか血流が保たれていた 1 例

横山 拓（九州大学病院 九州・沖縄支部）

Leriche 症候群、僧帽弁狭窄症などを合併し、大動脈弁バルーン拡張術に工夫を要した症例